

平成 24 年 12 月 11 日 00096 号

編集者:佐藤 寿 春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】中学校の武道必修化が本格化

中学校の武道必修化に伴う外部指導(柔道)の協力は順調にスタートしました。柔道での事故防止のため、有段者を含む複数指導が義務付けられており、北見市内で柔道を選択した5校の中学校も、それに対応しています。派遣を依頼した中学校は3校で、北見市立温根湯中学校(森谷四段)は既に10月中旬に、1～3年生まで10時間を無事終了しています。北見市立光西中学校(中澤六段)と中学校北見市東陵中学校(佐藤七段)の柔道授業は、これから本格的に行われます。東陵中学校の相楽典子教諭は「私一人だと技を教科書通り教えることはできますが、断片的になります。佐藤さんを迎えることで、柔道として立ち技から寝技までの流れや臨機応変のバリエーションを見せることができるので大変有難く思っています。これから各クラス残り5時間の授業がありますが、受け身の習熟を高めて怪我をさせない事を最重要として、寝技の軽い試合形式を目標に授業を進めていきたいと思います。」とコメントをいただきました。また、生徒からは「授業を受けて楽しいし、佐藤先生は優しく分かりやすく教えてくれます。技も綺麗でスゴイ！」と声があがっていました。(山本)



北見市の武道館進捗状況

12月2日現在、基礎工事(基礎コンクリート)は終わり、5つのエリアに分け、土台となる部分の型枠にコンクリートを流し込む、基礎工事が始まっています。基礎のコンクリート打込み工事は、年内中を目処に完了の予定となっています。



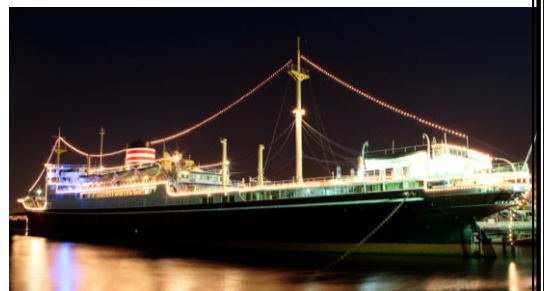
【第17回北見市総合武道祭レポート】⑦ちびっこ相撲

最終演目は、武道祭参加の小学生によるちびっこ相撲です。昨年度に比べ参加数も増え20名を超えての対戦となりました。体格の差をものともせず気迫あふれる戦いが展開され、応援にも熱が入り大変盛り上がった武道祭最終演目となりました。



連載【週刊氷川丸】⑭リニューアルされた「日本郵船氷川丸」

1997(平成9)年には観客累計2,000万人を達成した氷川丸は、2003(平成15)年11月、戦前の日本貨客船の唯一の現存例である貴重な文化遺産として、横浜市指定有形文化財に指定されました。しかし、入場者数の減少や財政難の横浜市が氷川丸の保存事業から手を引いたため、氷川丸マリンタワーは2006(平成18)年10月13日、同年12月25日で氷川丸の運営を終了し、船体を日本郵船に譲渡することを発表した。予定通りに運営を終了し、氷川丸マリンタワーは2006年12月31日付で解散した。その後、再び日本郵船の所有となり改装工事が行われました。竣工当時の写真や資料をもとに船内は貨客船当時の姿に近い形に復元され、2008(平成20)年4月25日「日本郵船氷川丸」としてリニューアルオープンしました。2010(平成22)年4月には氷川丸の80歳を祝い「氷川丸生誕80周年記念イベント」が盛大に開催されました。



次週は氷川丸 最後の航海日誌(最終回)をお伝えします